

## ② 劣化状況評価結果

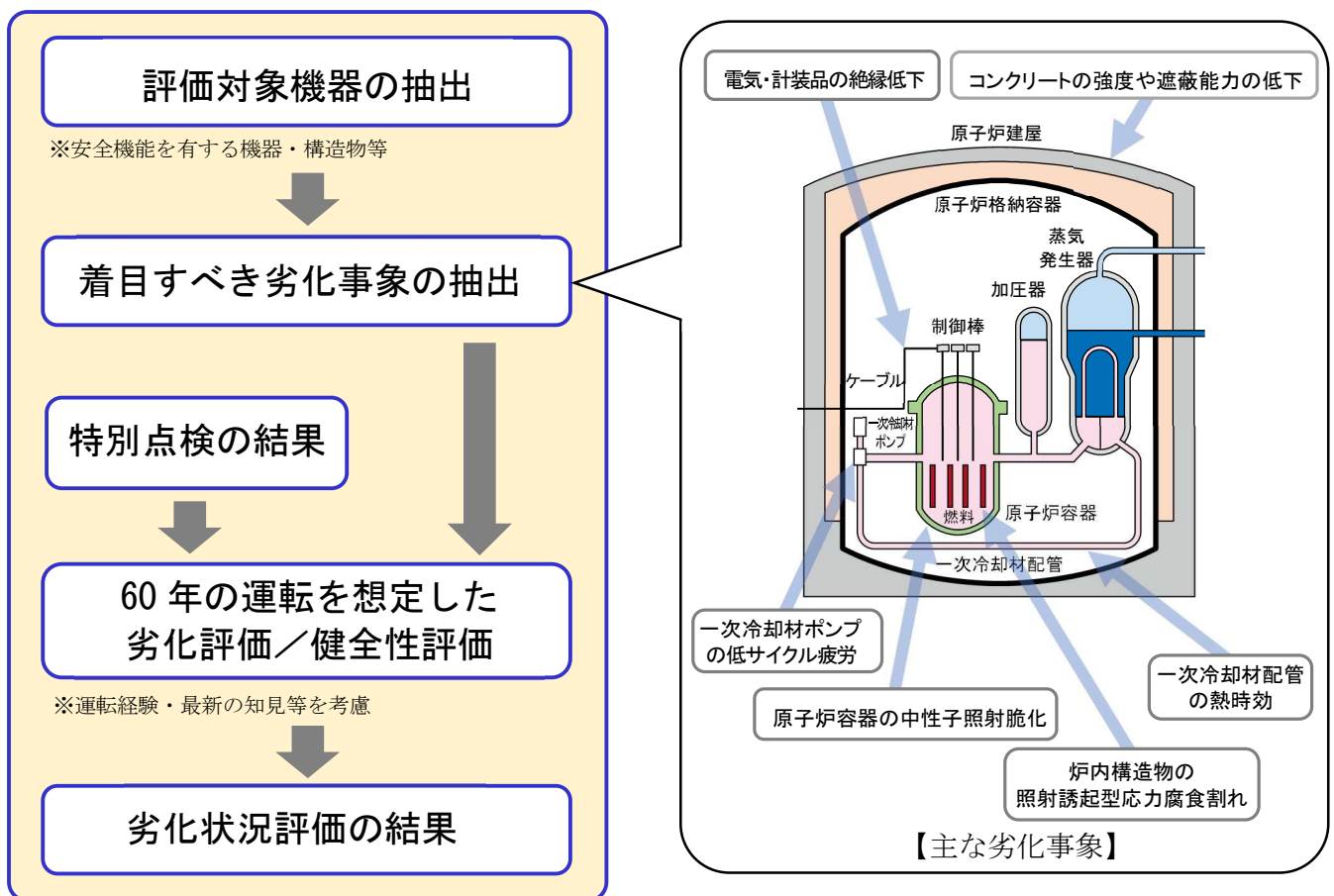
### 1. 概要

安全機能を有する機器・構造物等を対象とし、特別点検の結果とこれまでの運転経験や最新知見等を踏まえ、腐食、疲労損傷、絶縁低下等の経年劣化事象が発生していないか、今後の運転で経年劣化事象が発生しないかを検討しました。

さらに、経年劣化事象が発生する可能性のある機器・構造物等について、運転開始後 60 年時点の劣化状況を想定し、現状の保全活動で健全性が確保されるかを評価しました。

### 2. 劣化状況評価の結果

劣化状況評価の結果、安全機能を有する機器・構造物等は、現在行っている保全活動の継続及び一部の機器に追加保全を講じることで、運転開始後 60 年時点においてもプラントの健全性が確保されることを確認しました。



【劣化状況評価の手順】